

わたしとあなた…。それぞれが「愛」と「優」の心をいつも大切に。おたがいを認め、支え合うまち・京都を。

人権情報誌 VOL.37 2010.2



特集 みやこユニバーサルデザイン賞  
子ども部門受賞作品を紹介します!!

京にはばたく

人が人らしく生きるために

社団法人 認知症の人と家族の会 代表理事 高見国生さん

マンガで考えてみよう  
トラフィックイングってご存知ですか?

輝きピープル 今井 絵理子 さん

～あせらず、くらべず、あきらめず  
子どもの前ではいつも笑顔でいたい～



#### PROFILE

今井 絵理子 (いまいえりこ)さん  
平成8年、SPEEDのボーカルとしてデビュー。平成12年に解散後はソロに。音楽活動だけにとどまらず、ドラマや映画、舞台等で幅広く活躍する。結婚・産休を経て音楽活動を再開。平成20年に長男の聴覚障がいを公表。同年、SPEED再結成を果たす。著書に『ココロノウタ～息子と歩んだ4年間、そしてこれから～』(祥伝社)

#### 【取材協力】

ヘアメイク：大坪 真人  
スタイルスト：河原 歩  
衣装協力：Dual THRED

子どもの前ではいつも笑顔でいたい  
あせらず、くらべず、あきらめず

輝きピープル

#### 歌手

## 今井 絵理子さん Eriko Imai

10代の頃から人気歌手として脚光を浴びてこられた今井絵理子さん。やがて結婚、出産という幸せの絶頂で、生まれてきた息子・礼夢君が先天性の難聴という障がいを抱えていることを知ります。以来、多くの試練を乗り越えてこられ、「障がいは個性」と笑顔で語り、いつも前向きにさまざまな活動に取り組む今井さんの姿に、共感と感動の声が集まっています。

泣いて泣いて泣いて…  
笑顔でいようと心に決めた

「この子が生まれたら、音楽の素晴らしさを伝えたい」と思い、妊娠中もいろいろな音楽を聴いて過ごしていました。生まれててくれた時は喜びと感謝の気持ちでいっぱいになりました。本当に幸せでした。そんな気持ちがどん底に突き落とされたのは生後3日目。検査の結果、「高度感音性難聴」という先天性の障がいで、音声がほとんど聴こえないことが分かったのです。いつも生活の中心にあった音楽を、そして私自身の歌声を、この子は一生聴くことができない…それはあまりに残酷な宣告でした。泣いても泣いても涙が止まらず、一日中泣いてふと思い出したのが、これまでの人生で壁にぶつかった時に励みにしてきた「神様はその人に乗り越えられる試練しか与えない」という言葉。“そうだ、この試練は私なら乗り越えられる、私だからこの子を育てられるという神様からのギフトなんだ”と捉え、しっかり向き合おうと思ったのです。その時、息子の前では二度と涙を見せまいと心に誓いました。

世の中には、ハンディをハンディとせず生活している人がたくさんいます。きっと息子も毎日を幸せに生きることができるはず。そのためには、「まず母である私がいつも元気で笑顔でいよう、この子の目に映る世界が少しでも明るく楽しくあるように、障がいがあっても当たり前に生活できる環境をつくっていこう」と決めました。

## お母さんが一人で抱え込まないことが大事

もちろん、最初は何をどうすればいいのかわからず手探りの状態でした。そこで、まずは自分なりにできるだけ多くの情報を集め、広い視野と知識を持ちたいと思ったのです。さまざまご縁をたどっていろいろな方からアドバイスを求めたり、知り合ったお母さん友達から情報を聞いたり、施設を訪問したり…。それまではどちらかというとコミュニケーションが苦手な性格だったのですが180度変わりましたね。自分から心を開き、ありのままの姿をさらけ出することで、得られるものはいっぱいあります。できる限りのことはするけれど、一人で抱え込んでしまわないよう、頼れるところは素直に頼ることにしています。おかげで、本当に多くの素晴らしい方々と出会い、たくさんのつながりができました。

戸惑うことがあっても、幼稚園の先生や同じ立場のお母さんが子どもとまっすぐに向き合い、あきらめずに根気よく接する姿勢を見て、いつも力をいただいています。いいと思ったことは何でも取り入れ、ともに楽しく成長したいですね。3歳から一緒に手話を始め、5歳になった今ではほとんど手話でコミュニケーションがとれるようになりました。

これまでには離婚という決断もありました。でも、私は決して一人で子育てしているというプレッシャーを感じたことはありません。母をはじめ、お母さん友達、幼稚園や施設の先生、周りの人の協力に支えられてきました。とてもありがとうございます。

幸い私は恵まれた環境にいますが、同じ境遇のお母さんたちの不安や心配がよく分かるだけに、お母さん同士、また、信頼できる大人たちが、みんなで子どもを見守ることのできるネットワークや、コミュニティが整備された世の中になっていくことも願ってやみません。

## みんな同じ人間として一緒に歩んでいきたい

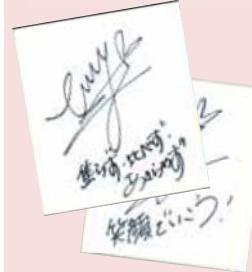
これまでの体験の中で、人と人とのつながりのあたたかさ、ありがたさを人一倍感じてきたからこそ、息子にもそんな生き方を伝えたいと思っています。できるだけ外に出てより多くの人と触れ合い、いろいろな体験をして、どんな環境にあっても勇気を持って生きて行ける力をつけてあげたいですね。幸い、幼い頃からまわりの方々がたっぷり愛情を注いでくださったおかげか、いつも笑顔が絶えないフレンドリーな子に育ちました。私が仕事に出る時も泣いてぐずったりしません。やはり母親が一番ですから寂しくないわけはないと思うのですが、彼なりに理解してくれているのでしょうか。いつか成長した時に、「たくさんの人にお世話になったね、よかったね」と言えるよう、私は自分で自分の生き方に自信を持ち、時には後ろ姿で彼に何かを伝えられればと思います。

現在は、SPEEDでの活動の合間やツアー先で、条件が許す限り息子も一緒に、ろう学校や特別支援学校、児童養護施設などを訪れ、歌でコミュニケーションをとるという活動を続けています。そんな体験や子育てを通じて実感したのは、子どもたち誰もが「自分を見てほしい、認めてほしい、ほめてほしい」という切実な気持ちを持っているということです。同情や偏見ではなく、まず、同じ人間として向き合い、喜びや楽しみを分かち合うことが何よりも大切です。誰もがそうしたスタンスを持つようになるには、先入観を持たない幼い頃に、障がいのある子とそうでない子と一緒に過ごすことも必要だと思っています。そうした体験があれば、大人になっても壁をつくらず普通に接することができるのではないかと思います。施設や先生の問題もあり、決して簡単なことではないと思いますが、一人一人が認められる社会を実現するために必要なことではないでしょうか。



私が大好きな言葉「あせらず、くらべず、あきらめず」は、私の子育てのモットーであり、また、どんなシーンにも通用するおまじないでもあります。世の中、いろいろな人がいるけれど、みんな同じ人間。障がいだってひとつの個性で、不便だけ不幸ではない。私はライフワークである「歌」を通して、そんな思いをより多くの人々に伝えていきたい。それが、私たちを支え励ましてくれた人々や社会への恩返しにもなると信じています。

## Present プレゼント —



今井絵理子さんの直筆サインを2名様にさしあげます！

今井絵理子さんの直筆サイン色紙を抽選で2名様にプレゼントします。ハガキに郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号と「あい・ゆーKYOTO vol.37」へのご意見・ご感想をお書きのうえ、2月28日(日)(当日消印有効)までに以下へお送りください。なお、抽選結果の発表は発送をもって代えさせていただきます。

〒604-8571 (住所不要) 京都市人権文化推進課 「あい・ゆーKYOTO Vol.37 サイン色紙プレゼント」係

# みやこユニバーサルデザイン賞 子ども部門受賞作品を紹介します!!

## ～全ての人に優しい動物園～

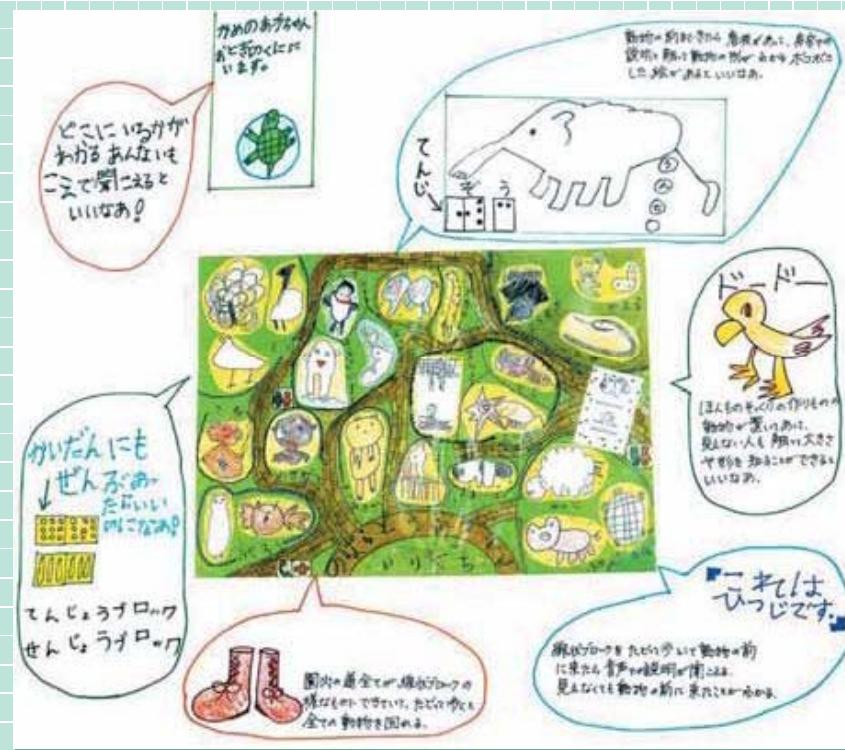
みやこユニバーサルデザイン賞は、すべての人が暮らしやすい社会環境づくりを目指す「みやこユニバーサルデザイン」の考え方の普及と、市民や企業の取組の促進を目的に実施しています。

平成21年度は、京都市動物園が今後7年かけて再整備されることから、そのコンセプトの一つである「全ての人に優しい動物園」をテーマに、市内の小中学生から105件のアイデアをいただき、以下の12件をユニバーサルデザイン賞に選定しました。



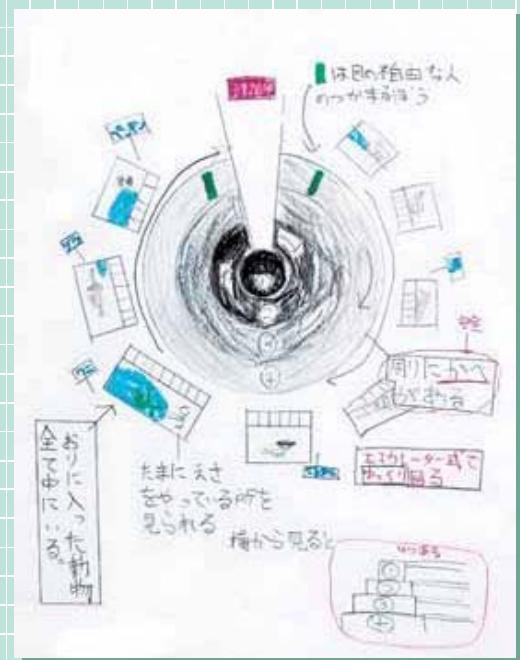
## みやこ子どもユニバーサルデザイン賞

それぞれの作品は、身体に障害のある方や、高齢の方、ベビーカーを押す方等、そして子どもたち自身が、みんなで一緒に動物園を楽しむためのアイデアです。



『のばらどうぶつえん』 奥田 のばらさん（桜原小学校）

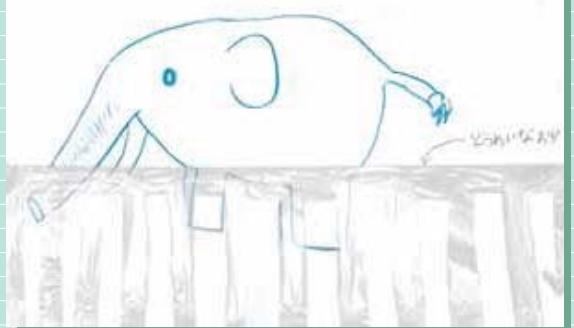
応募者のひと言 目が不自由な人も楽しめる。小さい子も楽しめる。



『ぐるぐる展示』  
吉田 崇晃さん（祥栄小学校）

### 応募者のひと言

④には車いすで上に上がれない人、③には子どもや背の低い人、②には大人、①には特に大きい人が乗ります。その段はゆっくり回るので酔う心配もありません。歩かなくても見られるところや、高さを変えて全員が全部の動物を見られるところが便利です。



『どうめいなおり』 宮崎 史歩さん（洛央小学校）

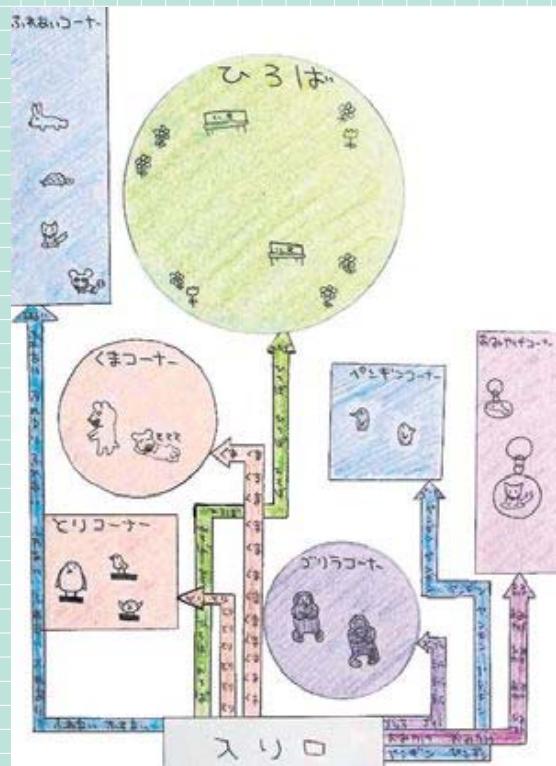
**応募者のひと言**

車いすの人や小さい子どもでも見やすいように、どうめいのおりにする。  
(今までのどうぶつのは茶色で、ちょうど目の高さにあり見えにくい。)



その他の受賞作品

作品名	応募者名	学校名
『感ズーる・ZOO』	蒟油 智子さん	深草中学校
『アニマルスイッチ』	中川 美鈴さん	弥栄中学校
『キヨロキヨロばし』	梅野 佑里さん	祥栄小学校
『動物の○○！！』	野田 織江さん	祥栄小学校
『動物もけい館』	増澤 優さん	祥栄小学校
『だれでもふれあえる動物』	荒井 優衣さん	祥栄小学校
『動物分かる君』	林 菜々絵さん	東山小学校
『車イスやぜんそくの人に優しい芝生』	工藤 楓さん	新洞小学校



『まいごにならない？  
地面に矢じるし』

松尾 優希さん（大藪小学校）

**応募者のひと言**

動物園に行くと、入口の近くにしか地図がありません。だけど、地面に書いてある動物の絵や名前の矢じるしをたどっていくと、その動物のもとにたどりつけます。これならまいごになる心配もありません。

同時に募集した学生・一般部門については、応募のあった26件中、以下の3件が入賞となりました。

区分	作品名	グループ名	学校名
大賞	『みんなをまきこむ動物園』	京都大学インクルーシブデザインユニット	京都大学
奨励賞	『あしあとあんないZOO』	にくきゅう	銅鈸美術工芸高校
	『感じる動物園』	UDZOO PROJECT	京都府立大学

ユニバーサルデザインは、**社会には自分とは異なる様々な人がいる**ことを認識することから始まります。

その様々な人(例えば障害のある方、高齢の方、外国の方等)に**初めからできる限り使いやすい(わかりやすい)**ように**配慮**して「もの」や「場所」をつくり、「情報」や「サービス」を提供することが**みやこユニバーサルデザイン**の考え方です。

このことは、企業や役所の活動にだけ当てはまるのではなく、「歩道や通路を塞ぐように自転車や物を置かない」「文字や文章は読む人がわかりやすいように書く」等、誰かほかの人に思いを巡らせることとして日常の生活中

にも当てはまるものです。

お互いが理解し合い、すべての人が個人として尊重される社会の実現を目指して、市民みんなで**みやこユニバーサルデザイン**を推進しましょう。

**お知らせ**

子ども部門、学生・一般部門の入賞者のすべての作品は、京都市情報館(京都市ホームページ)のみやこユニバーサルデザインのページでご覧いただけます。

URL : <http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000051996.html>





にはばたく

# 「人が人らしく生きるために」



(社)「認知症の人と家族の会」  
代表理事 高見 国生さん



「認知症の人と家族の会」は認知症に関わる当事者を中心とした全国唯一の民間団体です。活動を始めてから今年で30年、今では全国44都道府県に支部と約1万人の会員を持つ組織となっています。結成当時は認知症への理解も低く、家族にとって介護はつらく孤独なものでした。「認知症の人と家族の会」の代表理事である高見国生さんに、介護のあり方、認知症への理解について伺いました。



## 自分ひとりがつらいのではない

会を結成したのは、私自身が認知症の母親を介護していた時です。介護をする中で芽生えた、「1人ではやってられない。仲間と話したい」という思いからでした。はじめは身近な京都の組織として設立する予定でしたが、会の結成が新聞に掲載されたとたん、全国から入会希望者が次々とやってきました。会を結成した1980年代、認知症はまだ現在のように高い関心を持たれていませんでした。行政や医療、福祉においても対策が全くとられておらず、認知症患者の家族は自分たちの力だけで介護をしなくてはならなかったのです。さらに、認知症患者へは「気持ち悪い」とか「恥ずかしい」「生きている価値がない」などという偏見や蔑視があり、介護をしている家族は大変苦しい思いをしていました。あの日、全国からやってきた入会希望者の方々は、きっと藁にもすがる思いだったのだと思います。

私たちの活動は主に「介護をする家族同士の助け合い・励まし合い」と「認知症について社会に关心・理解を持ってもらい制度を充実させる」ことです。介護をする家族での集いや会報の出版、電話相談、講演会などを行っておりましたが、介護をする家族にとって一番大事な活動は「集い」です。介護の大変さは、介護をしている者同士が一番分かることですね。「介護のつらさを誰も分かってくれない。自分は世界で一番苦労している」と思っていた人が、同じく介護をする様々な人と話し合うことで、「自分ひとりがつらいのではない。もう少し頑張ってみよう」という勇気ができるんです。介護を苦にした事件が報道されていますが、幸い会員の中からは出ておりません。会には仲間がいる、色々な情報が得られる、孤立していない、ということが大きいのだと思います。今、「介護」で追い詰められている方があれば、ぜひ同じ介護者の声を届けたいです。

## 認知症になってしまっても心は生きている

認知症には色々な症状がありますが、共通するのは記憶障害(物忘れ)や見当識障害(場所、時間が分からなくなる)などの中核症状です。記憶障害は普通の物忘れとは違い、体験したことの「全て」を忘れてしまいます。例えば、80歳の認知症患者が「自分は50歳だ」と言うことがあります。これは単に数字を忘れているのではなく、本当に50歳当時の記憶に戻っており、50歳以降の記憶は全て失っています。さらには、周囲も50歳当時のままでなければ本人にとってつじつまが合わないので、家族のことを認識できなかったり、当時とは違う町並みに迷ってしまうのです。中には、自分の家を他人の家だと思い、夕方に突然「お世話をになりました。帰ります」と家を出でていってしまう方もいます。このような行動に家族の方は驚かれると思いますが、夕方になって他人の家から帰るのは常識であり、本人はごく普通に生きているだけなのです。

皆さんに知っていただきたいのは、周りのことが理解できないからといって本人の気持ちが無くなっているわけではないということです。環境が変わってしまったために、周囲が思う「普通の行動」がとれなくなっているだけなのです。

認知症は誰にでも発症の可能性があります。そして誰もがその家族となり、介護をする可能性を持っているのです。高齢化社会を迎える今、認知症になった人が人らしく生きられるよう社会全体に認知症を正しく理解してもらい、家族等の活動と公的な支援とが補完しあって「認知症になってしまって安心して暮らせる社会」を目指していきたいと思っています。

### 社団法人 認知症の人と家族の会

本部：京都市上京区堀川通丸太町下る 京都社会福祉会館2F

電話 811-8195 FAX 811-8188

HP <http://www.alzheimer.or.jp/>

#### ★「家族の会」認知症の電話相談

電話 0120-294-456

時間 10時～15時

(土・日曜、祝日は休み)



1980年から30年間、  
毎月発行されてい  
る会報誌「ぼ~れ  
ぼ~れ」



介護者の様々な体験談、  
メッセージをまとめた本

# マンガで考えてみよう トラフィッキングってご存知ですか？



トラフィッキングは、「搾取を目的として、人を獲得、輸送、引き渡し、貯蔵及び収受すること」と定義<sup>(\*2)</sup>されています。

性的な搾取や強制労働等を目的として、女性や子どもが被害にあうことの多い重大な犯罪で、基本的人権を侵害する深刻な問題です。国では、平成17年に刑法に人身売買罪を定めるなど<sup>(\*3)</sup>、この問題についての関心と理解を深め、被害を防止し、被害者の人権を守るための取組を進めており、ここ数年、被害を受け保護される方は減少<sup>(\*4)</sup>しています。

しかし、国際的な取組にもかかわらず、今多くの人が人権を無視され搾取された状態にあると言われています。



リーフレット(左下写真)は、トラフィッキングの被害を受けている方が、保護を求めて周囲の人々に示されるものです。助けを求められている方がある場合は、リーフレット裏面に示されている警察等の機関へお知らせください。すべての人々が、一人一人の個人として尊重され活躍できる社会を実現ていきましょう。

(\*1) アメリカ国務省2009年人身売買報告書

(\*2) 「国際的な組織犯罪の防止に関する国際連合条約を補足する人(特に女性及び児童)の取引を防止し、抑止及び処罰するための議定書」に定義されています。

(\*3) 平成16年に、人間取引の防止・撲滅と被害者の保護に向け、内閣に「人間取引対策に関する関係省庁連絡会議」を設置し、「人間取引対策行動計画」を策定。平成21年には新たに「人間取引対策行動計画2009」を策定。

(\*4) ①警察が認知した被害者数(警察庁生活環境課)

年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
被害者数	77人	117人	58人	43人	36人

②婦人相談所等における保護の状況(厚生労働省雇用均等・児童家庭局 H20.12.31現在)

・保護した被害者はすべて女性で合計255人(平成13年度からの累計)

・保護に至る相談経路の96%は警察もしくは入国管理局

## 講 座

わ わ

## 和い輪い人権ワークショップ

主要なテーマ：「場所」に対する差別

タイトル：ついつい思いがち？「あそこの人たちは…」～特定の場所についての特定のイメージをめぐって～

内 容：歴史や文化、災害や社会的事件によって町や場所のイメージが固定化されることがあります。「場所」のイメージが多くの人々に固定観念を植え付けがちであることについて考え、イメージにとらわれず自由に「場所」と向き合うにはどうすればいいかを考えます。

日 時 3月4日(木) 13:30～16:30 申込締切 2月25日(木) 定 員 40名程度(申込多数の場合は抽選)

会 場 京都市男女共同参画センター ウィングス京都(中京区東洞院通六角下る御射山町262)

申込方法 郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記のうえ、下記にお申し込みください。

京都いつでもコール ☎ 661-3755 FAX 661-5855

パソコン：<http://www.city.kyoto.jp/koho/cc/> 携帯電話：<http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

おはがき：〒604-8571(住所記入不要) 京都市人権文化推進課「和い輪い人権ワークショップ」係

お問い合わせ 人権文化推進課 ☎ 222-3381 FAX 222-3194

## セミナー

第23回地域リハビリテーション  
交流セミナーテーマ：挑戦することと生きる勇気 第1部講演・第2部交流  
講 師：中村周平氏(立命館大学大学院1年)、小泉二郎氏・中岡希恵氏  
(NPO法人希少難病患者支援事務局SORD代表理事・常任理事)

日 時 2月5日(金) 14:00～16:00

会 場 京都市身体障害者リハビリテーションセンター体育館(中京区壬生仙念町30)

定 員 約150名

お問い合わせ 身体障害者リハビリテーションセンター相談課

☎ 823-1666 FAX 842-1541

## 公演

## 第15回ふしみ人権の集い

第1部：活動報告 人権の集いからのメッセージ

人権の集いの15年と竹田の子守唄の10年

第2部：記念公演「響け鼓動！届け歌声！解放へのメッセージ！」

～被差別の文化、子守唄と太鼓を重ねて～

日 時 2月13日(土) 13:30～16:30

会 場 京都府総合見本市会館パルスプラザ 稲盛ホール  
(伏見区竹田鳥羽殿町5)

定 員 600名

お問い合わせ 伏見区役所まちづくり推進課 ☎ 611-1144 FAX 611-0634

## 講演会

## ふれあいひろば講演会

「明るいまちへのパネルディスカッション」

講師：亀井明子氏(NPO法人スクールセクシャルハラスマント防止全国ネット代表)ほか

社会問題化している「児童虐待」について、現状や問題点等を知りたい方へ、児童虐待の防止等に繋げていく機会としてパネルディスカッション形式の講演会を行います。

日 時 2月27日(土) 13:30～15:30

会 場 吉祥院地域体育館(吉祥院コミュニティセンター内)

お問い合わせ 吉祥院コミュニティセンター ☎ 691-7561

本誌は、年4回(5月、8月、11月、2月)発行します。区役所・支所のまちづくり推進課、市役所の市政案内所ほかで配布しています。郵送を希望の方は、返信用切手(120円分)を同封のうえ、京都市人権文化推進課までお申し込みください。

## 同じです あなたとわたしの 大切さ



発行日 平成22年2月1日

発 行 京都市文化市民局市民生活部人権文化推進課

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る

上本能寺前町488番地

☎ 075(222)3381 FAX 075(222)3194

<http://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/soshiki/6-2-3-0-0.html>

京都市印刷物第214573号